

## 「笑う門には福来る」

早いもので2025年もあとわずかとなりました。皆さんにとって、この1年はどのような年だったでしょうか。新年の始まり「お正月」は日本人にとって特別な時期です。今回は、伝統的な日本の正月遊びを、その由来も併せていくつかご紹介します。(由来には諸説あります。)

### ○羽根つき

羽根つきには、元旦に羽根を突き合うことで厄払い・魔よけになるという考えがあります。そして、羽根つきの羽根「無患子」にも、文字通り「子どもが病気を患うことなく、元気に育つように」という、無病息災の意味があるそうです。遊び方は2通りで、1人で何回羽根を打てるか競う「揚羽根」と、2人で羽根を打ち合う「追羽根」があります。



### ○凧あげ



骨組みに紙・布を張った「凧」を糸で引っ張り、風の力を使って空高く上げる遊びです。やっこが手を広げた形の和凧から、最近はキャラクターの凧まで様々な凧が売られています。凧の起源は中国にあり、占いや宗教の道具として使われていたものが日本に伝わり、江戸時代には凧を揚げることで、厄除けや祈願など、おまじないの要素があったそうです。

### ○福笑い

目隠しをされた人が、顔の輪郭だけ描いた紙の上に、切り抜いた目・口・鼻などを並べていきます。できあがり笑顔になる顔になるところに面白さがある遊びです。福笑いがお正月遊びの定番となったのには、「笑う門には福来る」ということわざが関係しているようです。このことわざには、笑いの絶えない家には、自然と幸福が訪れるという意味があります。



2026年も、みなさんの笑顔があふれる1年となりますように！

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財) 宮崎県国際交流協会まで

TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email [miyainfo@mif.or.jp](mailto:miyainfo@mif.or.jp)

毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら：みやぎき外国人サポートセンターまで TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902 Email [support@mif.or.jp](mailto:support@mif.or.jp)